



9月

夕刻迫る槍ヶ岳

撮影データ

撮影時期	10月下旬
カメラ型	ニコンD800E
レンズ	NIKKOR24~120mm
フィルム	デジタルカメラ
露出	1/160秒・F8



(第1土曜日に掲載)

槍ヶ岳は、日本のマッターホルンと呼ばれ、北アルプスを代表する鋭鋒と云っても過言ではない山です。この槍ヶ岳を望む、数ある展望台の中で最も私が好きな場所として選んだのが縦沢岳頂上からの景観です。

「凜」とした雰囲気表現することが出来ます。時として、この西鎌尾根は滝雲が流れる場所としても有名で、運が良ければそんな光景に出会えないかと期待しながらこの展望台を訪れています。

ここからは西鎌尾根を正面に槍ヶ岳頂上へと一気に突き上げる岩稜の流れが素晴らしい。夕照に染まる岩肌と斜光線が醸し出す陰影が画面を引き締め、初冬の縦沢岳は、双六小屋から1時間程度で山頂に立てる、立地条件に恵まれた撮影地です。入山経路としては新穂高温泉からワサビ平を経由して鏡平を抜け、双六小屋へとたどるコースが一般的。槍穂高連峰を展望しながら夏にはお花畑の中を歩く快適なコースです。(日本山岳写真協会東海支部・久野巖)

【訂正】8月6日付け「絶景を撮る」の右下写真の説明で、「盛夏の白馬岳」とあるのは、「盛夏の杓子岳・白馬鍾ヶ岳」の誤りでした。



夕照の槍ヶ岳 (北アルプス・鏡平から撮影)

